

番 号 1

平成20年6月10日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1番 田 口 寿 宜

		平成20年6月10日 午後3時50分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>財政について 仙北市の財政状況も「厳しい」から「危機的」へと表現が変わり、極めて深刻な状況になってきたと受け止める。 この状況から脱却する為には、行財政改革の具現化と更なるスピードアップが求められると考え、市民にもこの危機的状況をしっかりと示し、理解と協力を求め、財政再建の道を進むべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>仙北市の活性化について 1) 協定を結んでいる大学との連携 ・この部分を十分に活用し、積極的に事業等を展開する事によって、仙北市が活性化して行くという一つの要素と考えるが、市長の考えを伺う。 2) 重点プロジェクトの現在の状況と今後の進め方 ・市民所得向上につながる重要なプロジェクトと考えるが、現在の状況と今後の進め方について伺う。</p> <p>田沢湖の景観について ゴミ・生活排水等について、どのような対策を考えているのか伺う。</p>			
上記のとおり通告します。			

番 号 2

平成20年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 12番 真崎 寿 浩

		平成20年6月11日 午前8時30分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>観光地としてふさわしい交通体系とは(ソフト面・ハード面)</p> <ul style="list-style-type: none">・秋田内陸縦貫鉄道の存在意義について 存続に向けての今後の取り組みは・観光拠点を結ぶ道路網の整備について 訪れる人にとって優しい(親切的な)道なのか? 訪れる人にとって安全な道なのか? <p>新エネルギービジョンを活かした地域づくりを</p> <ul style="list-style-type: none">・「木質バイオマス発電地域システム化」の実現にむけて 事業を実施する考えは?			
上記のとおり通告します。			

平成20年6月10日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 20番 田 口 勝 次

		平成20年6月10日 午後2時05分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>「市長の市政運営に関する基本的考え方について」</p> <p>合併後の仙北市長に就任以来、仙北市総合計画をはじめ諸々の企画政策に取り組んできたが、まだ日も浅く審議段階のものもあり、実践の成果は十分とはいえないのが現状である。しかしながら今任期も余すところ15ヶ月余である。折り返し点を過ぎ、ゴールを目指してそろそろスパートをかける時期にさしかかってきたと思う。そこで石黒市長の仙北市政運営にかかる基本的なとらえ方をお伺いしたい。現状における考えで結構ですのでご答弁をお願いします。</p> <p>1. 市長の考えるまちづくりの課題と克服策ということで、現状認識とその対応施策を基本的考え方に基づいて述べていただきたい。</p> <p>市役所の行政サービスにかかる組織体制 財政健全化施策 市民と協働のまちづくり 元気不足の地域産業 負担に苦しむ高齢化社会の福祉と医療 秋田県と市民の間にある秋田内陸線問題と県立高校問題 秋田国体馬術競技跡の跡地利用計画</p> <p>2. 平成17年の市長選挙時にいくつかの公約を打ち出したと思うが、それぞれの公約に対する評価点や反省点を含め、今後取り組むべき課題をお伺いしたい。</p> <p>3. 来秋（平成21年）予定の仙北市の市長選挙への対応等基本的考えをお聞きしたい。</p>			
上記のとおり通告します。			

番 号 4

平成20年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 18番 高 久 昭 二

		平成20年6月11日 午前8時30分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1) 仙北市の子育て支援について</p> <p>仙北市の子育て支援策 現状と市民の立場に立った改善策、問題点、新たな施策等。</p> <p>義務教育と就学援助について 義務教育と就学援助制度の位置付け。 平成20年度就学援助の問題点等。 (改善策含め)</p> <p>仙北市非正規職員の身分保証、待遇改善について。 非正規職員の現状と問題点並びに今後の方策、改善策等。 (位置付け含め) (待遇改善含め)</p>			
上記のとおり通告します			

平成20年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員19番 藤 原 万 正

		平成20年6月11日 午前8時50分 受領	
発 言 通 告 書		発言の種別	
		一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1. 環境問題について</p> <p>来月7日を初日として、北海道洞爺湖サミットがはじまる。 また今月は環境月間であり、6月5日は「環境の日」である。 環境問題は今、大きくクローズアップされ関心が高まっている。</p> <p>サミットを前にして、また月間中の当市の取り組みは？ 七夕を「クールアース・デー」(地球温暖化対策の日)に制定し、その日は二酸化炭素(CO2)削減の意識啓発のために、職場や家庭の電気をライトダウンするような呼びかけもある。 当市においても、七夕の夜には、短時間でもライトダウンするよう市民に呼びかけるキャンペーンを実施してはどうでしょうか。</p> <p>前の議会の一般質問で、地域の環境保全活動の実践者、またはリーダーの育成のために、県で開催している「環境あきた県民塾」への受講の呼びかけを提案しましたが、検討協議されたかどうかを伺います。</p> <p>当市に環境カウンセラーやエコマイスターがおられるのか。 また、県民塾を受講された方がどの位おられるのかを伺います。 学校や保育園等での環境教育の取り組みは？ エコクラブのある学校やエコ意識を高めるための教育に取り組んでいる学校・保育園等があれば伺います。</p>			
<p>2. 厚生労働省は、生活は苦しいけれども生活保護を受けるまでに至っていない、いわゆる「ボーダーライン層」への支援をする</p>			

ため今年度から「自立支援相談員」を市町村に配置するとして
いましたが、配置されたのか？

生活保護世帯、人数

相談件数

相談だけで終わる件数

近い将来、受給者になる懸命（ボーダーライン層）のある件数
等々、当市の実状を伺いたい。

3．A E D（自動体外式除細動器）について

当市のA E Dの設置状況

救命講習会、受講修了者はどの位おられるのか？

今後の設置計画や、市民への意識啓発への取り組みは？

4．視覚障害の方々の情報取得のため、音声コードの導入について

わが国の視覚障害者は約30万人と言われている。

病気を原因とする中途失明者の増加などにより、点字を利用
できない人が全体の9割を占めている。

ほとんどの視覚障害者は、各種の通知や書類等々、日常生活全
般にわたってその内容がわからず、著しい情報格差にさらされ
ている。そうした格差を埋める技術として日本で開発されたの
が音声コードである。視覚障害者の生活の質を向上させるため
にも導入を。当局の見解を伺いたい。

上記のとおり通告します

平成20年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員15番 澤 田 信 男

		平成20年6月11日 午前10時5分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨			備 考
<p>1) 分庁舎方式の解消と本庁舎整備について 効率の良くない分庁舎方式から本庁舎方式にすべしの議論は、何度となくされてきている。19年度には組織機構のあり方、候補地、概算事業費、財源などについて調査検討してきている。20年度は、19年度の検討結果をふまえ、具体的な方向性を見出すと述べている。 何をどうするのか伺いたい。</p> <p>2) 黒倉遺跡について 神代卒田にある黒倉遺跡は、今から5000年から4000年前の、縄文中期から後期にかけての、長期間継続した大規模な集落跡のようだ。これまで2回、750㎡程の調査をしているようだが、判明している内容はどのようなものか。 1000年程も継続した集落跡だとすると、範囲も相当大きいものと思える。今後、範囲確認調査や試堀調査をすべきと思うがどうか。</p> <p>3) 指定管理者制度と定員適正化計画について 住民サービス向上、行政コストの縮減に向けて、指定管理者制度が推進されているが、職員数に余裕のある仙北市の場合、外部に委託した分だけ経費がかかり増しになるのではないか。 定員適正化計画を早期に前倒しにする計画の見直しが必要と思うがどうか。</p>			
上記のとおり通告します			

番 号 7

平成20年6月11日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員13番 田 口 喜 義

		平成20年6月11日 午前10時55分 受領	
発 言 通 告 書		発言の種別	
		一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>1. 行政改革 行政改革の取り組みの推進について 各年度ごとに実施計画を策定したもののについて、その成果と反省点は。 具体的な目標値、目標年度は。</p> <p>2. 福祉施設等民営化 福祉施設と保育園の運営の状況について。 民営化のメリットは。 移行先の見通しと移行後のサポートについて。</p> <p>3. 病院経営改革 市立病院・診療所の運営の一本化による再編、ネットワーク化の方向性について どのような一本化が考えられるか。</p>			
上記のとおり通告します			